

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	鍵をかけることの弊害は全職員が認識しているが帰宅願望の強い方がおられ安全管理面から施錠している。	なぜ外に出たいのか、利用者の思いや要因を話し合い、鍵をかけい自由な暮らしを支援するための工夫を行う	帰宅願望の強い利用者の原因を職員で話し合い、それらを出来るだけ取り除くケアを行う。又、故郷めぐりなど外出できる機会を増やすことを検討する。ハード面では出入り口が常に見える場所で職員が業務を行う。1Fの有料老人ホームの受付の方にも協力してもらう	12ヶ月
2	10	家族の予定を伺って家族会議を開催している。また、訪問時にも話し合いの機会を設けているが、意見や要望などは少ない。	職員が同席しない家族会の開催など、家族が素直な意見や苦情が出せるような場面を作る。	忘年会や園遊会などで家族だけが集まる場所を設置し話しやすい雰囲気を提供し、広く意見を伺い、反映していく。また無記名のアンケートを実施する。	12ヶ月
3	33	重度化や終末期対応に関するホームとしての方針の統一までにはいたっていない。	利用者の状態の変化、それに沿ったホームの対応力を家族等と話し合い、方針の統一につながる体制づくりを行う	介護職員の医療知識の勉強会を行ない、どこまで見るかの方針をきめマニュアルに繰り入れ今後に対応していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。